

平成21年 3月25日

公開シンポジウム

ファイトジーンの可能性と未来

植物の遺伝子組換え技術は、すでに私たちの暮らしと深く関わっており、今後の植物科学の最も重要な分野の一つです。今回のシンポジウムは、わが国の遺伝子組換え植物の実用化に造詣の深い講師をお招きして、今後のこの分野の方向性を広く理解するとともに、香川大学で行われている植物遺伝子関連の研究を紹介することを目的としています。参加無料ですので、ふるってご参加ください。

1. 日時 平成21年4月2日(木) 13時15分～16時30分

2. 会場 サンポート香川 61会議室

3. 内容 基調講演

「遺伝子組換え植物研究の現状と課題」

鎌田 博 筑波大学遺伝子実験センター教授

研究報告

「植物ミトコンドリア病の謎に迫る - ACR 毒素レセプター制御機構 - 」

秋光 和也 香川大学農学部教授

「レドックスが介在する植物ホルモンシグナル伝達機構の解析」

多田 安臣 香川大学生命科学総合実験センター准教授

「マメ科植物の根粒形成と共生窒素固定」

東江 美加 香川大学農学部准教授

「花卉老化の調節 - 花が萎れるしくみ - 」

小杉 祐介 香川大学農学部准教授

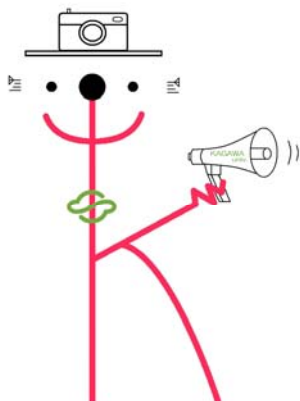
「花の色や形を制御することは可能か」

鳴海 貴子 香川大学農学部助教

司 会 香川大学農学部 深井 誠一

4. 参加費 無 料

5. 主 催 香川大学農学部 植物ゲノム・遺伝子源解析センター準備室



➤ 問い合わせ先

香川大学農学部 教授 深井 誠一

TEL : 087 - 891 - 3072 FAX : 087 - 891 - 3021

E-mail : fukai@ag.kagawa-u.ac.jp

Phytogene

ファイトジーンの可能性と未来

公開シンポジウム

とき 平成21年4月2日(木) 午後1時15分~4時30分
ところ サンポート香川 61会議室
参加費 無料

◆基調講演

「遺伝子組換え植物研究の現状と課題」

鎌田 博 筑波大学遺伝子実験センター教授

◆研究報告

「植物ミトコンドリア病の謎に迫る -ACR毒素レセプター制御機構-」

秋光 和也 香川大学農学部教授

「レドックスが介在する植物ホルモンシグナル伝達機構の解析」

多田 安臣 香川大学生命科学総合実験センター准教授

「マメ科植物の根粒形成と共生窒素固定」

東江 美加 香川大学農学部准教授

「花卉老化の調節-花が萎れるしくみ-」

小杉 祐介 香川大学農学部准教授

「花の色や形を制御することは可能か」

鳴海 貴子 香川大学農学部助教

●司会 香川大学農学部 深井 誠一

主催：香川大学農学部 植物ゲノム・遺伝子源解析センター準備室

問い合わせ先

香川大学農学部深井研究室 087-891-3072 まで